

# 開拓うつらぼろ

■ 謙敬寺開基住職（飯居 琳） 九

“僧侶で医師だった人”

琳が亡きあとに

琳の死は大正八年五月三十一日でした。前年夏、わけあって誕生した父の愛娘「銀政」に父が再会できたことは、何より大きな慰めであったと『追憶』にありました。

琳の四男馨は浦幌の高台の寺で生まれ、長兄大専との年の差が二十二年ある末っ子でした。

馨の三女細川睦子は「うちの父だけがつき合っていて、伯父や伯母はしなかった。毎年二月になると銀政さんから干し柿や干し栗が送られてきて、北海道にはないものでしょ、だから嬉しかったものです。」と、子どもの日のことを話していました。

馨の家族たちは、四十七年前浦幌駅で銀政と劇的な再会

をしていました。

宇出津興能信用金庫で預金三十万円積立募集があつて、その利子で北海道遊覧をすることになった銀政の団体一行が、美幌峠から阿寒湖、釧路の帰途、浦幌駅を通過したのです。一分停車の駅で、馨は「宮本さんはいませんか」と大声で叫んだといひます。デッキに立っていた銀政と、馨家族たちとのホームでのあわただしい面会でした。

馨の記録でその日は、昭和三十三年六月七日、午後八時二十八分小樽行き終列車に連結の車両となっています。

そのとき銀政さんが、デッキからお菓子の袋を投げてくれて、それが干菓子なんだけど、私たちの知らない、珍しい高価なお菓子だった、この

辺には売ってなかった。銀政

さんは六十四・五歳になっていたと、細川睦子は小首を傾け、馨は「デッキに立っていた姉銀政……。年を重ね、若いときの面影は薄らいだとはいえ、健やかな容姿は嬉しい限りであった。」と書いています。

琳の六人の子のうち、馨だけは父の歳月にさらされた恋情を理解して、四歳年長の銀政に肉親的な愛情でつき合いをつづけたのでした。

琳の馬ボソコ

雨の日も風の日も琳を乗せ、冬は箱馬車で病家や月参りの共をしていた琳の馬ボソコは、琳の葬儀の日、いつも通り汗のにじんだ色の馬具をつけ、何の飾りもない姿で門徒の一人に口綱を引かれて、見送り

ちびっこギャラリー  
gallery for a kids artist

浦幌幼稚園  
櫻澤 佳貴くん  
福井 純伶ちゃん



## オグロシギ(シギ科)

83

首は長め、足も黒くて長め、嘴もまっすぐで長い、冬羽は背側が灰かっ  
色で腹側は淡色。

旅鳥



フィールドノート

H 16. 9月 十勝太

—で、でかい、しかもいっぱい。—  
こんなうれしい光景を目の前にし  
ていながら心が晴れないのはなぜで  
しょう。

それはシギだから。見分けが苦手  
なのです。違っていたらゴメンナサイ。

by トリおばさん

うらほろ野鳥図鑑

が延々とつづく葬列の最後を、  
首を下げながら火葬場まで見  
送りました。  
乗り主の琳に別れてからは、  
何を与えても美味しそうに食  
べず、馬そりの箱に鼻をつけ  
て、琳の匂いを嗅いでいるよ  
うなことがしばしばあったと  
いうポンコでした。

ど、色々なことがありました。  
ポンコの話は、お寺で生  
涯養つことにきめていたので  
したが、小路谷丑造から預  
かってやるという話があつて  
任せることになりました。ハ  
ツは長い間夫の琳に仕えてく  
れたポンコに、三日前から穀  
物を炊いては与え、「うんとお  
食べ」と言つて、労苦をねぎ  
らつて別れを惜しんでいたと  
いいます。

高橋 悦子

大正4年 本堂上棟記念写真



9月6日の浦幌町議会第3回定例会初日  
に豊頃町との法定協議会設置が賛成多数で  
可決されました。

これにより浦幌町の将来が「自立」と  
「合併」、両論で論議されることになりまし  
た。法定協議会の設置により、念願の「合  
併したときの町の姿」を皆さんに示すこと  
ができることになりました。どのような町  
の姿を描けるのか、想像の夢を膨らませて  
います。

9月24日の浦幌町中央公民館で開催さ  
れた第1回協議会では、本庁舎を豊頃町と  
することに浦幌の委員より異論が続しま  
した。「本庁舎は浦幌町に」という思いは浦  
幌の町民であれば同じだと思ひます。本庁  
舎と事務組織及び機構を論議する中で、更

に豊頃・浦幌の信頼関係を築いていきたい  
と考えています。

これからのまちづくりには自己責任が求  
められます。「自立」、「合併」どちらを選  
択するにしても十分な議論を尽くし、数年後  
に振り返り選択に誤りのなかったことを確  
認できる体制を作りたいと考えています。  
来年3月までの半年間が浦幌の将来を決め  
る重要な期間になります。町民の皆さんと  
の対話(協議)を大切に議論を深めていき  
たいと考えています。

私の動静については、町ホームページで  
公開しています。庁舎内で執務をしている  
ときには町長室を開放しています。ぜひ、  
お越しいただき、まちづくりに対するご提  
案・ご意見をお聞かせください。

皆さんの対話を大切に

町長 八木 忠宏

町長室から